

仲の良さが強さの秘訣

登別市で生活する合田さん、梅田さん、吉木さんが所属する女子軟式野球チーム・苦小牧ガイルディアは、今年の5月に初の全国大会優勝を成し遂げました。

決勝戦で完封勝利を収めた投手の梅田さんは、「決勝で負けたら自分のせい。とてもプレッシャーを感じましたが、決勝の相手は、一昨年の全国大会の準決勝で負けたチームだったので、前回の雪辱を果たそうとチーム一丸となって戦うことができたのが大きかったと思います」と振り返ります。

二塁手の合田さんは、「長い間、苦楽を共にしてきた仲間ですので、互いの性格や弱点を理解しています。例えば、フォアボールを出すのと焦りを感じてしまうチームメイトが登板しているときは、誰からともなく声掛けをし、リラックスして投げてもらえるような雰囲気

が自然とつくられますね」と、チームの強みについて話します。



▲全国大会での優勝を目指す選手たち汗を流す練習の様子

はなく、みんながとても仲の良いチーム。技術面はもちろん、野球以外でもいろいろと相談にのってもらっています」と笑顔を見せる合田さんは、「ずっとこのチームで野球をしていきたい」とチームへの思いを話してくれました。

感謝の気持ちを胸に

野球をしていた兄の影響で、小学生の頃から野球を続けてきた吉木さんは、「中学校を卒業すると、女性が野球をできる環境は少なくなります」と話します。

「野球を続けたいなら女子野球チームに入ったほうがいいと中学校の野球部の監督にアドバイスをもらって、苦小牧ガイルディアに入りました。監督の一言がなければ、野球をやめていたかもしれせん。今は、楽しい毎日をお過ごししています」と、吉木さんは野球ができる喜びを教えてくださいました。後輩たちに向けて「野球を続けられる環境が近くにもあるよ」とメッセージを送る3人は、野球を続けていられることが何より楽しいと話してくれました。野球をできる環境をくれた人への感謝の思いを胸に、8月の大会に向けて今日も練習に励みます。



KIRARI

ごう だ まな か
合田愛可さん (美園町)

うめ だ ち ひろ
梅田千尋さん (常盤町)

よし き あ さ み
吉木亜沙美さん (常盤町)

苦小牧ガイルディアは、平成18年に結成した女子軟式野球チームです。

全日本女子軟式野球選手権大会準優勝、北海道女子軟式野球大会の秋季・春季連覇などの実績があるほか、5月には第12回全国女子軟式野球選抜交流碧南大会を、全試合完封勝利で優勝しました。

今回は、8月に第28回全日本女子軟式野球選手権大会を控えた同チームに所属する登別在住の3選手に、チームに入ってからこれまでの活動や野球への思いについて伺いました。

野球を続けられる、それだけでうれしい



- ◎合田さん(左) 平成10年、登別市生まれ。18歳。平成26年に苦小牧ガイルディアに入団。今年から新社会人として、仕事に野球と充実した生活を送っている。
- ◎梅田さん(中央) 平成12年、札幌市生まれ。16歳。平成26年に入団。室蘭東翔高校の2年生として勉学にいそしむとともに、チームではエースとして活躍している。
- ◎吉木さん(右) 平成12年、登別市生まれ。17歳。平成26年に入団。現在、室蘭東翔高校3年生で、チームでは足を生かした攻撃で貢献している。